

Symposium

社会的支援が届いていない 膨大な数の人たちへの支援を考える 〜ひきこもり、外来ニート、未治療・治療中断〜

長期にわたるひきこもりは約300万人、
その中には精神障害が原因の人が少なくない。
通院しているが「6ヶ月以上、就労、就学、通所などをしていない」
ニート状態の人が約40万人。
未治療、治療中断の人も少なくない。
そのほとんどの人たちは必要な社会的支援を受けられていない。
私たちはこれから何をすれば良いのか、
支援に取り組み始めている方々をお招きして、徹底討論してみたい。

2010
6月27日 sun
10:30▶17:45

明治大学アカデミーコモン
3F アカデミーホール

●東京都千代田区神田駿河台1-1
●JR御茶ノ水駅 御茶ノ水口徒歩2分

定員 1,192名(車椅子席をご用意できます)
参加費 事前登録 一般 ¥2,500 会員 ¥1,500
ホームページ予約…¥200割引
当日受付 一般 ¥3,000 会員 ¥2,000
懇親会 事前登録 一般 ¥2,500 会員 ¥1,500
当日受付 一般 ¥3,000 会員 ¥2,000

※ 昼休みにメンタルケア協議会総会が開かれます
(会員のみ参加可・お弁当付き)

第1部 最近の精神保健医療福祉施策の動向

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課

第2部 地域で支援が届いていない膨大な数の人たち

野村 忠良 東京つくし会会長
平川 博之 日本精神神経科診療所協会副会長
井手 宏 全国引きこもりKHJ親の会 西東京「萌の会」会長

第3部 各地で始められている新しい取り組み

朝比奈ミカ 中核生活支援センター「がじゅまる」センター長
満窪 順子 非営利型一般社団法人たまぷらねっと代表理事
小松 正泰 元全家連理事長、「窓の会」代表
寺田 悦子 多摩在宅支援センター円理事長
高木 俊介 たかぎクリニック院長・ACT-K代表
新居 昭紀 ぴあクリニック院長

第4部 総合討論

支援が届いていない人たちを支援するために私たちは何から始めれば良いのか

お問い合わせ